

(5面から続く)

面に対する認識を伺います。市長 お話しいただいた課題の拾い上げ方も踏まえて、市民目線での改革・改善へ



飛田 昭議員《市政クラブ》

地域防災指導員・防災技能者育成制度の導入を

静岡県では、自主防災体制の確立などを目的とし、地域の防災リーダーを選出する防災指導員制度を導入して

時に地域のリーダーとして活躍する消防技能者の育成にも鋭意努めるべきだと考えます。地域防災活動をきめ細かに指導できる地域防災指導員及び防災技能者育成制度について、これからの地域住民による防災意識の高揚や、災害応急活動の習得など、地域災害対応能力のさらなる向上を図るため、この取り組みについて市長の考えを伺います。

また、東海沖地震の大規模災害発生当初は、行政関係機関が十分に機能せず、救出救護、消火活動など地域住民みずからが実施し、みずからの安全を確保しなければならぬ状況が予想されます。このため、救出・消火、資機材の取り扱いや普通救命訓練などの研修を受け、災害時や訓練

ラス思考で持つていけるように考えたいと思います。副市長 事務的な判断についての指示で、議会の権能に触れることは求めていません。



佐藤 弥斗議員《政和会》

ひまわりまつり 今後の展開は

今年のみまわりまつりは、昨年引き続き観光協会主催で、栗原会場、座間会場ともに8日間行われました。雨に見舞われた日も多くありましたが、栗原会場には約2万3000人、座間会場には約2万6000人の来場者がありました。テレビやラジオ、新聞などのマスコミにも昨年よりも多く取り上げられ、市内はもちろんのこと市外や埼玉県、千葉県、また栃木県と

いた県外からも多くの方々を訪れ、家族連れの方や若いカップルの方も多く見受けられたのが、とてもうれしく思っています。さらに座間会場では、昨年に引き続き大型の観光バスと、今年、ほとんどもツアーを組んで訪れました。ひまわりまつりは座間市の第四次総合計画において戦略プロジェクトに位置付けられており、今後の座間市にとって大変重要な事業だと考え

ます。今回のひまわりまつりをどう総括され、今後の展開、行政としてはどのように取り組んでいこうとお考えなのか伺います。市長 今回のまつりの課題等につきましては、市の花ヒ



稲垣 敏治議員《公明党》

防災・防犯面から空き家対策を

空き家は全国で約756万戸あります。何年も放置されている空き家は、老朽化が進み台風や地震などの自然災害で倒壊する恐れがあります。また、庭や通路には害虫が発生し、樹木の枝葉は伸び放題となり、隣家への光を遮ったり、雨どいや屋根を壊したりして多大な迷惑をかけています。さらに、その空き家に、よその人が勝手に住みつくなど非行や犯罪の場所になるケースも起きています。そして、これから秋の枯れ葉の季節には強風や放火の心配もあり、空き家を抱える地域の皆さんの心労は大変なものですが、空き家は個人の所有財産であることが大きな壁となり、多くは適正管理がなされていません。

マワリの振興とまつりのステップアップのため関係者と十分協議をし、観光協会を始めとした皆さんと連携、協力を基本としまして行政として果たすべき役割を果たしていきたいと考えています。

市長 昨年の6月定例会でもご指摘をいただき、対応を図っていく課題であると強く認識をしています。所有者責任の明確化が大事で、全国的な問題として国による法整備が必要で、本市としては、昨年からの空き家対策として関係部に指示し対応策を検討していますが、今後は細やかな現状の把握と踏み込んだ対策が必要で、条例化についても十二分に勉強や検討をしていきたいと思っています。



今後、本市において条例制定の検討も含めて、全庁挙げて



柏木 育子議員《日本共産党》

中学校給食は自校方式で

中学校給食のあり方検討懇話会実施のアンケート調査によれば、家庭弁当について、好みや体調に合わせおかずや分量の調節ができると思う生徒は72・4%、保護者77・1%、教職員は94・7%です。

家庭弁当はアレルギー対応が細やかにできると思う生徒は72・5%、保護者78・4%、先生98%、保護者と先生との差が20ポイントです。家庭弁当は家庭のきずなを深めると思う生徒は35・9%、保護者

52・6%、先生87・3%です。きずなは弁当だけでなく、日々のことばかけや接し方の方がより重要です。さらに弁当は昼食時間が短時間で済むので時間が有効に使えらると思う生徒は36・3%、保護者は29・3%、先生85・9%です。給食が問題なのではなく忙しさが問題なのです。懇話会の基本方針では小学校の自校方式の継続が望ましいとしながらも、栄養教師を配置すること

を基本に家庭弁当とデリバリーの選択方式です。最後に「児童・生徒にとってよりよい学校給食の実現が図られるよう望む」としています。今後庁内検討委員会が自校方式の導入に尽力していただきたい。教育長の考えを伺います。教育長 親子のきずなを深めることや個別対応ができる弁当の効果を生かしつつデリバリー方式が現実的という報告書に基づき検討します。



安海 のぞみ議員《神奈川ネット》

介護保険制度 方向性と現実の課題は

介護保険は、住み慣れた地域で最後まで暮らし続けることを社会全体で支えるというのが創設の理念でした。本制度により介護の社会化は幾分進みましたが急速な高齢化に追いつかず、在宅支援という観点からは遠いものとなっております。10年を経過した本制度を振り返り、今年度終了の第4期介護保険事業計画の目標値に対する評価をお示しください。また、来年度スタートの第5期計画の策定に当たり、国が打ち出した地域包括ケアシステムについてのお考え、保険料上昇緩和の方向性を明らかにしてください。

健康部長 第4期計画の成果として地域密着型事業所が今年度2カ所開所し、計画の5カ所に達する予定です。第5期計画における地域包括ケアシステムは、医療との連携・介護サービス・介護予防・生活支援や権利擁護・住居整備の五つの視点で地域に住民が継続することのできる包括的・継続的取り組みを行うものです。保険料については、各種基金の取り崩しも上昇緩和策の一つとしては考えられます。

市長 地域の中で相互に助け合い、介護を進めていくこ

を明らかにしてください。

請願・陳情の提出について

請願・陳情はいつでも受け付けています。3月、6月、9月、12月の年4回開催される定例会において審査されます。なお、定例会ごとの締め切り日については、議会事務局にお問い合わせください。 ☎046(252)8872

請願・陳情の結果

9月定例会の各常任委員会及び議会運営委員会が審査した請願・陳情は、次のとおり決まりました。

- ◎ 採 択
 - 請願第5号 義務教育に係る国による財源確保・35人以下学級の早期完全実現・教育の機会均等と水準の維持向上、ゆきとどいた教育の保障を求める請願
 - 陳情第20号 座間市議会議場に国旗掲揚を求める陳情
 - 陳情第62号 地方消費者行政を充実させるため、地方消費者行政に対する国による実効的支援を求める意見書を政府等に提出することを求める陳情
 - ◎ 不 採 択
 - 陳情第60号 地球防衛宣言に関する陳情
 - 陳情第61号 地域医療の守り手の経営基盤「医療税制」の存続と診療報酬への消費税ゼロ税率を求める意見書の提出を求める陳情
 - ◎ 継続審査
 - 陳情第37号 米飯給食をふやすことを求める陳情
 - 陳情第40号 児童デイサービス施設における看護師設置費用と事業所借り上げ費用の一部補助を求める陳情
 - 陳情第51号 中学校教科書採択についての陳情
 - 陳情第52号 TPP交渉参加反対に関する陳情
 - 陳情第53号 座間市消防団条例における年齢制限についての陳情
 - 陳情第56号 望ましい歴史教科書の採択を求める陳情
 - 陳情第59号 座間市議会議員の定数削減を求める陳情
 - 陳情第63号 平成24年度における重度障害者医療費助成制度継続についての陳情
 - 陳情第64号 平成24年度における障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援についての陳情
 - 陳情第65号 座間市議会議員定数削減の陳情